



滋賀大学へのご寄附のお願い

本学では『きらきら輝く滋賀大学基金』を設置し、学生の教育・研究、国際交流、修学、課外活動支援、データサイエンス教育研究の高度化など、滋賀大学を幅広く支えていただくご支援をお願いしています(税制上の優遇措置の対象です)。
皆さまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

『きらきら輝く滋賀大学基金』の種類

一般基金

・学生の教育・研究や国際交流活動、彦根高商創立百周年記念事業など、大学全般に対する幅広いご支援

(以下、特定基金：特定目的へのご支援)

修学支援事業基金

・経済的な理由で修学が困難な学生に対するご支援

スポーツ・文化活動基金

・学生の課外活動に係るご支援(特定の部活動への支援を指定可)

データサイエンス基金

・データサイエンス教育研究の高度化に係るご支援

経済学部基金

・経済学部における教育研究活動に係るご支援

附属学校園いまを生きる基金

・教育学部附属学校園の教育環境充実をはじめ、教育活動に係るご支援

藤村泰子記念基金

・障害児者の音楽教育・音楽活動に関するご支援

詳しくは寄附金ホームページをご覧ください。

<https://www.shiga-u.ac.jp/kikin/>

〈お問い合わせ先〉

滋賀大学基金室(広報課内)
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号
TEL 0749-27-1004 FAX 0749-27-1129
E-mail kikin@biwako.shiga-u.ac.jp



滋賀大学広報誌 Vol.55

しがだい

[発行日] 2022年4月

[発行] 国立大学法人 滋賀大学

[編集] 滋賀大学広報部会

須江 雅彦 (理事・副学長)

大山 政光 (教育学部)

渡邊 史 (教育学部)

増山 裕一 (経済学部)

宮西 賢次 (経済学部)

和泉 志津恵 (データサイエンス学部)

西山 さよ (広報課広報係)

広報アドバイザー

富永 佳与子

滋賀大学広報課広報係

〒522-8522 彦根市馬場1丁目1番1号

TEL 0749-27-7524

E-mail koho@biwako.shiga-u.ac.jp



アンケートのお願い

「しがだい」のより充実した誌面づくりのために、WEBアンケートのご協力をお願いいたします。



学生広報サポートチーム考案

カモンちゃんLINEスタンプ販売中!



LINE STOREを
チェックなり!



カモンちゃん

日本の開国を主導した井伊直弼公をモチーフにした滋賀大学公式キャラクター。名前は直弼公の官位、掃部頭(かもんのかみ)に由来しています。滋賀大学に“come on”という意味も掛けられています。本学学生が在学中に取り組み生み出されました。

SHIGA
UNIVERSITY
Public
information
magazine

しがだい



SHIGA UNIVERSITY



これからの大学教育と
人材育成のために
いま、滋賀大学に
求められること



彦根キャンパス滋賀大学講堂にて

学長就任メッセージ

未来創生大学を ともにつくっていこう

新時代に必要な基礎力を育む場に

このたび新しく学長に就任しました。今後4年の私の任期中、「未来創生大学『滋賀大学』」に向けて、大学の教育・研究そして社会との連携を推し進めていく所存です。この4月より、本学の第4期中期目標・計画の6年間の始まりです。新学長としての私の最も重要な仕事は、この中期目標・計画で掲げられた目標を確実に達成していくことです。この中期目標では基本的な目標として、未来創生に貢献する大学をめざすこととしています。

教育面では、未来を見据えた文理融合教育を推し進めていきます。滋賀大学のこれまでの伝統と実績の上に、深い専門性ととともに新時代に必要とされる基礎力を育むことをめざします。新時代に必要とされる基礎力のキーワードとしては、リベラルアーツとデータサイエンスリテラシーがあげられます。リベラルアーツは、複雑化した現代社会の問題を解決するために必要とされる文理を問わない幅広い知識や、複合的な視点からのアプローチができる総合力の養成を意味しています。データサイエンスは問題解決のためにデータを活かすことです。

研究面では、分野をこえた融合的な研究を促進します。

第14代 滋賀大学長 竹村 彰通

Profile

1952年生まれ。1976年東京大学経済学部卒業、1978年東京大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学専門課程修士課程修了。米国スタンフォード大学統計学部客員助教授、米国パーデュー大学統計学部客員助教授、東京大学経済学部教授、東京大学大学院情報理工学系研究科教授を経て、2015年5月滋賀大学に着任。2017年4月から滋賀大学データサイエンス学部長、2022年4月から現職。

また大学の運営面では、社会との連携を重視した運営及びデジタルトランスフォーメーションによる業務の効率化をめざします。

一昨年の冬に突然発生した新型コロナウイルスの感染は予想もしなかったような大きな変化を社会にもたらしました。大学では、対面授業が制限され講義をオンラインでおこなわざるを得ない状況が生じました。企業等でも、在宅勤務が急速に進むなどの変化が一気に進みました。コロナ禍によって文化的な活動が制限されるなど厳しい状況となりましたが、一方で私たちにはこれまで当たり前と思っていた習慣や仕事のやり方を見直す機会ともなりました。地方創生の観点からは、コロナ禍による変化は地方にとってチャンスと捉えることもできます。コロナ禍は都市への資源の集中のあやうさを明らかにしました。このような社会の大きな変化の中で、未来創生大学の具体化をめざしたいと考えています。

以上のような目標の達成は、学生の方たちを含め、大学の構成員が一丸となって取り組むことによって初めて可能となるものです。未来創生大学をともにつくっていきましょう。

Contents

学長メッセージ

01 未来創生大学をともにつくっていこう

第14代 滋賀大学長 竹村 彰通

巻頭特集

03 これからの大学教育と人材育成のために いま、滋賀大学に求められること —座談会—

07 知見を活かして滋賀県をより元気に

09 きらきらしがだい人

卒業生インタビュー

13 輝く卒業生たち

島津 佑汰さん 日東電工株式会社
深牧 仁美さん JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)
高山 孝介さん 守山市立守山南中学校

16 ニュース&トピックス

17 先輩に聞く、 国際機関就職への道

学生広報サポートチーム企画

19 CAMPUS COMPASS

shiga-uni リアルタイムしがゆに

21 CLUB & CIRCLE

クラブ&サークル



学生広報サポートチーム活躍中！

広報誌の記事企画(P19)やカモンちゃんLINEスタンプ考案(裏表紙)など大学の広報活動を学生目線でサポートしています。一緒に活動したい方は本学HPをご覧ください。

国宝彦根城と桜

これからの大学教育と人材育成 いま、滋賀大学に求められること

社会情勢の変化に加えて、コロナ禍という想定外の困難もあり、
大学教育と人材教育への社会的要請はいつそう強くなっています。
令和の新時代から、「新・滋賀大学構想—未来創生大学『滋賀大学』へ」を掲げている滋賀大学。
そこで今年4月に学長に就任した竹村彰通教授、学生、企業出身者に、
それぞれの立場から滋賀大学への期待、要望を語り合っていました。

※新型コロナウイルス感染対策に配慮し実施しました。



竹村 彰通 教授
滋賀大学長

2015年、滋賀大学に着任。データサイエンス
教育研究推進室 教授、データサイエンス教育
研究センター長・教授を経て、2022年4月から
現職。

一般教養を改革、実践 社会での適応力を養う

竹村 「未来創生大学『滋賀大学』」※1の
新構想は、社会の急速な変化に対して、総
合的かつ複合的な課題解決の必要性から
策定しました。昨今の社会課題は、単一の
知見や学問領域からのアプローチでは解決
が困難になっています。滋賀大学は複雑な
課題への適応力と解決力、新たな価値の
発見と創造力、より豊かな人間力を併せ
持った、未来を創生する人材を育てる大学
教育を実現していきます。具体的には、教育
学部、経済学部、データサイエンス学部と
いう3学部共通の一般教養科目を「未来創
生リベラルアーツ・滋賀大モデル」※2(以下、
未来創生リベラルアーツ)として改革、実践
していきます。新構想の要素の一つが「デー
タサイエンス教育」です。Society 5.0※3を

基軸とした超スマート社会への進化はめざ
ましく、あらゆる領域でデータサイエンス
リテラシーを備えた人材が求められてい
ます。本学では日本初のデータサイエンス
学部を設置し、昨年3月に1期生を社会へ
送り出したのですが、求人数も就職率も非
常に高く、優れた人材育成への要請はさら
に高まっています。そのため、全学部の全
学生がデータサイエンスリテラシーを身に
つけることをめざします。
次に、未来創生リベラルアーツにおける
「STEAM教育」※4です。本学が近年注力し
ている「文理融合」を具現化した科目によ
って、先ほど述べたデータサイエンスリテ
ラシーのほか、数理の知見と論理的思考力、
広い視野での課題発見、解決力、多様化す
る人々、社会への理解、適応力を養うこと
を目的としています。

谷村 私は経済学部会計情報学科に所属

しています。講義で会計に関するデータを
扱うことも多く、数理的な知識と思考力が
必要であることは日々実感しています。
高槻 私は教育学部で社会科教員をめざ
しています。理系科目には苦手意識もあ
って、入学当初は自分には数理や科学技術
系の知識は必要ないのではと考えていたの
ですが、そうではないのです。現在、児童
生徒1人に1台の端末を配布して授業を行
うGIGAスクール構想が進んでおり、当然、
教員はICTを活用する知識や技術がなけ
れば指導できません。今後は数理、科学技
術系も学んでいきたいです。
竹村 学生が「未来創生リベラルアーツ」
の重要性を理解し、意欲的に取り組んでく
れることは、学長としてはもちろんですが、
教員としても喜ばしく、頼もしいですね。

のために [座談会]

社会・企業が求める 価値を生み出せる人に

谷村 コロナ禍で、これまで経験のなかつ
たオンライン講義を受けたりしたことで、
社会ではいつ何が起こるか分からないと
改めて思いました。そういった想定外のこ
とに直面した時の柔軟性や適応力も卒業
までに身につけたいです。

近藤 確かにコロナ禍によって、世界中が
多大な社会的、経済的打撃を受けました。
一方でコロナ禍以前から課題となっていた
ICTの活用や働き方改革などが一気に加速、
浸透したと思います。リモートワークはもち
ろん、業務効率化を目的として、人が行っ
ていた事務処理や単純作業を機械やAIなど
が取って代わるケースも増えてきています。

高槻 では、変化した社会や企業ではどの
ような人材が求められるのでしょうか。

近藤 そうですね。企業はこれまで以上に
「人」を重視していると思います。機械やICT
がいくら発達しても、それらを何にどう活用
するかを考えるのは人ですから。採用にお
いては、今も学歴フィルターといった問題
が取りざたされていますが、「いい大学を出

ている学生なら大丈夫」といった旧態依然
の採用方式や人材確保では、企業の進化は
望めません。竹村学長がおっしゃった通り、
データサイエンスは、業種を問わず企業活
動のあらゆる面で必須となっており、急ピツ
チで導入、活用が進んでいます。私が長く
在籍した保険業界でも、一定の専門業務
に就く理系の学生の採用はありましたが、
中心はやはり文系の学生。しかし、機械化、
ICT化、データ活用が進むにつれ、社員の
誰もが一定レベルの数理知識を持ち、使い
こなすことが必要になってきました。また、
リモートワークの普及により、採用する大学
や学生のフィールドが広がったのではない
でしょうか。業務によっては出勤の必要が
なく、全国各地、いや海外にいても仕事は
できます。こういったことから、企業として
は、高い専門性はもちろん、幅広い知識、
能力を持ち合わせた人材、新しい価値を生
み出せる個性ある人材を求めています。

竹村 企業の採用や業務でのオンライン
活用は、地理的・物理的制約を受けません。
これは滋賀大学をはじめとする地方大学
や、地方創生においてもチャンスが拡大し
たと捉えています。



彦根キャンパス「滋賀大学大学院Future Class Room」

※1
未来創生大学『滋賀大学』
3つの縦軸「データサイエンス・教育・
経済の専門知」と、1つの横軸「未来創
生リベラルアーツ・滋賀大モデル」を
組み合わせ、Society 5.0時代(※)に
新たな価値創造ができる人材育成を
目指した大学構想。

※2
未来創生リベラルアーツ・
滋賀大モデル
データサイエンスリテラシーとリベラル
アーツ教育(ヒューマニティーズ、サイ
エンス、クリエイティブ・スタディーズ)
を通して、社会の発展に創造的に参画
する能力を養成する教育方針。

※3
Society 5.0
サイバー空間(仮想空間)とフィジカル
空間(現実空間)の融合により、経済
発展と社会的課題の解決を両立する
社会。

※4
STEAM教育
STEM(科学、テクノロジー、エンジニ
アリング、数学)という科学技術系分野
に、Arts(人文、社会、芸術)の要素を
組み込んだ総合的な教育のこと。

何ものにも捉われず 広い視野を持った人に

高槻 多様化という点で、グローバル化についてはどうでしょうか。というのも、私は学習塾でアルバイトをしているのですが、中学生から「英語を勉強して何になるのか」と聞かれたものの、うまく答えることができてなくて。

竹村 ICTなどによって世界の距離感がさらに縮まったこともあり、「未来創生大学『滋賀大学』」ではグローバル教育にも注力しています。これは私の考えですが、グローバル教育というと多文化、多人種の理解に重点が置かれますが、仕事をするうえでもコミュニケーションを図るうえでも、やはり「語学力」がなければ始まりません。

近藤 私はキャリアの大半、国際的なビジネスである再保険業務に従事し、出張も頻繁に行っていました。英語は授業だけでなく、日常生活でも意識して勉強しなければ、なかなか身につけません。ただ、言葉はあくまでもコミュニケーションのツール。知識や自分自身の考えを持つことこそが大切です。さまざまなことを学んで身につけ、英語というツールがあれば、自らの可能性や選択肢、活躍の場が広がるのではないのでしょうか。

高槻 英語というツールで世界が広がる。中学生に伝えたいと思います。

谷村 あいおいニッセイ同和損害保険で女性初の執行役員となった近藤さんに、女性の活躍や働き方についてお聞きしたいです。

近藤 私の在籍していた会社では女性活躍のための仕組みや環境が近年かなり整備されてきましたが、日本全体を見ると、女性活躍推進が遅れていることは否めま

せん。女性活躍はSDGs(持続可能な開発目標)に設定されている「ジェンダーの平等」の下の一つのターゲットであり、政府や企業が本腰を入れて取り組むべき課題です。

竹村 研究職における女性研究員も残念ながらまだ少ないのですが、滋賀大学の連携企業の研究拠点を訪問したところ、女性研究員が活躍し、信頼を寄せられていました。女性活躍をはじめ、男性の仕事、女性の仕事というアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み、偏見)の排除においても、本学の「未来創生リベラルアーツ」が貢献できると思います。

キャリアデザインを考え 視野を広げる機会を提供

竹村 これからの本学に期待することや要望を率直に聞かせてください。

高槻 大津キャンパスと彦根キャンパスの距離感を解消することはできないでしょうか。距離が縮まれば、共通科目の受講や課外活動、他学部との交流などがスムーズになるので、ありがたいです。

竹村 両キャンパスにおいては、オンラインの活用はもちろん、対面講義、交流においての環境整備を早急に進めていきます。

谷村 私は社会で活躍されている方から直接学べる機会が増えるとうれしいです。以前、起業家の方やベンチャー企業で活躍されている方が講師として登壇される「アントレプレナーシップ」※5を受講しました。その話から最先端の仕事内容、求められる人材などについてリアルに捉えることができ、学びへの意欲も向上したので。

竹村 終身雇用や、大手や一流企業に就職すれば安泰というのは、今では古い考え方、スタイルになってきました。今、社会では会社や就職に対する考え方、ワーク・ライフ・バランスも大きく変化しています。現役のビジネスパーソンから話を聞くことは、学生のキャリアデザイン、キャリアパスにおいて非常に参考になると思うので、滋賀大学が多数連携する企業や官公庁、自治体のネットワークも活かして、積極的に数多く開催していく予定です。「未来創生大学『滋賀大学』」においても、アントレプレナーシップは重要項目であり、プログラムの充実、学生への喚起をいっそう図っていきます。高い創造意欲、リスクに対して積極的に挑戦していく起業マインドは、起業のみならず、一般企業への就職や教員をめざす学生にも、就活や資格試験、その後の働き方にもプラスになるはず。起業に関しては、「滋賀大学発ベンチャー認定制度」※6も導入しています。



谷村 真菜
経済学部 4回生
膳所高校 (滋賀県)

高槻 教育学部といえば将来は教員というイメージだったので、滋賀大学発認定ベンチャー企業の第一号が教育学部の先輩ということを知り、驚きました。学部は関係なく、可能性が広がっていくのですね。

社会から真に求められる 専門性×多様性

竹村 大学は、学問継承や文化継承を行うアカデミックな教育機関であると同時に、大学での学びを社会でどう活かすのかという実学も重要です。滋賀大学は創設から140余年にわたり、社会に貢献できる職業人、教育者の育成を使命とし、実学にも注力し続けてきました。それは今も変わりません。実学を並行しなくては、社会から大学に要請される能力は養えないでしょう。未来創生リベラルアーツでも、学部での専門科目でも、アクティブ・ラーニング※7やPBL型※8プログラム、インターンシップなどをいっそう増やしていきます。

近藤 自分の将来を具体的に思い描き、実学を通じて実社会に役立つことを修得することは、卒業後の大きなアドバンテージとなり、即戦力ともなるのではないのでしょうか。

高槻 高校時代までの受け身の授業、正解のある授業とは異なり、答えのない課題に対して納得解をどれだけ探究できるのかという学びを求められていると感じています。そのためにはリベラルアーツやアクティブ・ラーニングにおいて、多岐にわたる知識と思考力を養わなければいけない、とも。

竹村 最後に近藤さんから、社会、企業のお立場からの滋賀大学への期待をお聞かせください。

近藤 データサイエンスの社会、企業での



座談会は、彦根キャンパスに誕生した「滋賀大学大学院Future Class Room」で実施。竹村学長による電子ペンのデモンストレーションも

導入・活用は進みつつありますが、データサイエンティストなどの専門能力を持つ人材や技術の整備はまだ十分ではありません。だからこそ、専門の頭脳、人材が集まった大学との連携は企業にとってスピード、コストなどいろいろな点を考慮し、ベストな選択だと思っています。

竹村 本学との連携企業・自治体は年々増加する一方です。

近藤 私が在籍していたあいおいニッセイ同和損保も、早くから滋賀大学と提携し共同研究に取り組んでいます。保険業界だけでなく、企業や官公庁、自治体は莫大な量のデータを保有しており、活用のアイデア、可能性は無限大です。大学側はリアルで貴重なビッグデータを基に、これまでになかった研究、価値創造を行うことができ、産官学連携による相乗効果は計り知れま

せん。滋賀大学の「未来創生リベラルアーツ」は、社会や企業が求める人材育成に非常にマッチしていると思いますし、より秀でた学生を数多く輩出してくださることに期待しています。

谷村 私たち学生は身につけなければならない素養が数多くありますが、竹村学長のお話を聞いて、滋賀大学ならそれらをしっかり学べて、社会、企業から求められる人間に成長できると思いました。

竹村 滋賀大学は、各学部で高い専門性を追究し、自身の強み、得意分野にできることはもちろん、「未来創生リベラルアーツ」において、これからの社会に柔軟に適應できる広範囲な力を獲得できます。私はより充実した体制、環境の整備と学生の夢、目標の実現を使命とし、全力を尽くしていきます。

近藤 智子 氏

滋賀大学監事

早稲田大学法学部卒。千代田火災海上保険株式会社入社(現、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)、再保険部長、理事総務部長、執行役員、MS&ADインシュアランスグループホールディングスの常勤監査役を歴任し退任。2022年3月滋賀大学監事に就任。

※5

アントレプレナーシップ

創造力、論理的思考力、コミュニケーション力、コラボレーション力の4つのスキルをさまざまなジャンルの実務経験豊富な講師陣から実践的な講義を通して体得し、実際の企業の課題抽出・解決策を考える授業。

※6

滋賀大学発ベンチャー 認定制度

地域経済や社会への貢献を目的に創設。本学の研究から生まれた技術やビジネス手法を用いるなど、要件を満たして事業化した企業を認定し、認定企業には本学施設・設備の利用、本学職員への相談といった支援を用意している。

※7

アクティブ・ラーニング

教員による一方的な講義形式ではなく、学生の能動的な参加を取り入れた学びの総称で、汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習などのほか、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループワークといった方法がある。

※8

PBL型 (Problem-based Learning)

問題解決型学習、課題解決型学習と呼ばれる、アクティブ・ラーニングの一種。自ら問題、課題を見つけ、その解決の過程で知識や経験を得る学習方法のこと。



高槻 官汰
教育学部 2回生
虎姫高校 (滋賀県)



知見を活かして 滋賀県をより元気に

大学の知見、学生のパワーを地域に活かす、
さまざまなプロジェクトが進行中。
社会で活躍する人材をめざして、
今できることに全力に取り組むことは、
学生の学びにも繋がっています。



稲作の実体験を通した 食・農・環境教育と滋賀大学オリジナル日本酒造り

PROJECT
01

米づくりと日本酒の仕込みで 自然と生活の循環を学ぶ

〔教育学部／森 太郎 准教授〕

食・農をめぐる環境について理解し、考え、行動することができる学生の育成をめざして、地域の生産者（大津市）にご協力いただき、自然環境に配慮した稲作の実体験（田植え、稲刈り、炊飯・試食）やそれに関わるグループでの調べ学習を行っています。さらに、収穫したお米の一部を使用し、北島酒造株式会社（湖南市）のご協力の下、滋賀大学オリジナルの日本酒を製造。その過程で仕込みの実験に参加し、微生物の利用に関する学習も行っています。さらに、ネーミングやラベルのデザインは、学生から募って作成しています。このように地域の協力を得ながら実社会に近い体験活動によって、学生は、食・農をめぐる自然・社会・生活環境について、深く学習することができていると考えています。

一圓屋敷におけるウェルネスツーリズムの事業化

PROJECT
02

自転車ガイドツアーで里山の魅力を発信

〔経済経営研究所／江竜 美子 助手〕

NPO法人として参画する古民家再生事業のひとつとして会社を作り、多賀町の築160年の庄屋屋敷を改修して、民泊を始めました。しかし、コロナ禍に見舞われ、古い文化財を愛でただけでは集客になりません。そこで、美しい景観を楽しめるガイド付き自転車ツアーを始めました。事業を軌道に乗せるために大学から支援を得て、学生と共に広報用PVを作製しました。近江高天原と称された里山と歴史という、地域資源を活かした自転車ガイドツアーを行うことにより、全世界から集客し、地元観光への貢献を図ります。



「この道はどこに続くのだろう。ある日、自転車に乗って里山を行き森を抜け坂道を降りて田園を行くと、琵琶湖だった！胸が一杯になった。みんなに教えてあげよう」



広報PVは
こちら

People's Pantry みんなの食品庫

PROJECT
03

食品ロス削減と地域の福祉活動に貢献

〔地域連携教育推進室／柴田 雅美 特命教授〕

「People's Pantry みんなの食品庫」は食品を必要とする人に無料で提供する活動です。2019年11月に始まり、教職員や学生らが家庭で不要になった食材を回収したり、地域のフードバンク彦根から食材の提供を受けて開設しています。このフードバンク彦根に学生や教員らがボランティアスタッフとして参画し、地域での食材回収と配布に携わっています。「もったいないを、ありがとうに」は、フードパントリーの活動を通じて、大学でも、地域でも、広めていきたいキーワードです。



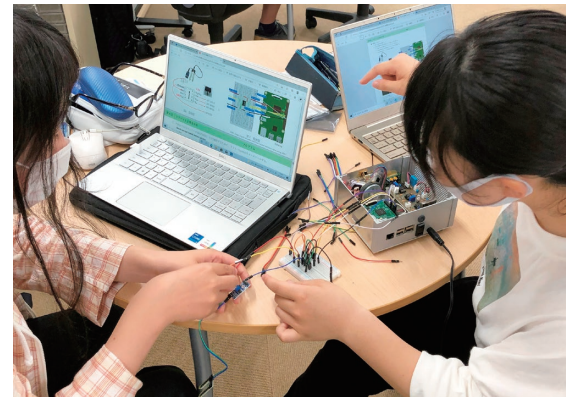
データ駆動型農業実験プロジェクト

PROJECT
04

データ分析とIoTで農作業の効率化を探る

〔データサイエンス学部／谷口 伸一 特任教授〕

大学構内に実験農場を設け、データサイエンスとIoTを農業分野へ応用する実践的な学習を実施。自動灌水システムで野菜を栽培しながら気温や日射量などのデータを収集・分析し、作業軽減と生産性の改善をめざしています。1苗も枯らすことなくたくさんのトマトが収穫でき、上出来の1年目の成果でした。本プロジェクトは浅小井農園（近江八幡市、会長・松村務氏）、ベースワン・ファーム（米原市、社長・山室義治氏）、ファームやまね（米原市、山根時男氏）、佐藤工業株式会社の協力とアドバイスを受けました。



滋賀データ活用LAB

（健診結果データを利用し県庁へ政策提言）

PROJECT
05

複数のデータから健康増進を導く

〔データサイエンス学部／佐藤 正昭 教授〕

「滋賀データ活用LAB（通称）」は、産学官が連携し、滋賀県内のデータを活用して、課題解決に役立てようと、活動しています。今年度は、匿名化された個人健診結果データを活用。地域別や個人属性別の健康状態の違い、他の健康に関連する公的統計等オープンデータとの関連を分析して、健康増進のための政策提言をすべく、データ保護に関する厳重な措置をとりながら、ゼミで分析を進める予定です。そのために多変量解析の実践も兼ねて、分析手法を議論してきました。



地域の未来を切り拓くジュニアプログラミング教室

PROJECT
06

データサイエンス界を担う子どもたちを育成

〔データサイエンス学部／齋藤 邦彦 教授〕

2021年12月より、データサイエンス学部主催の「ジュニアデータサイエンティスト育成プログラミング教室」を開始しました。教室の目標は、「データサイエンス」を担う人材を、小・中学生の段階から育成することです。講義の内容はプログラミング言語Pythonを用いたプログラミングと統計教育に関するものです。講義時間は1時間で、週3回、5人の少人数クラスで実施しています。講師やメンターはデータサイエンス学部の学生が担当し、1対1対応の指導を行っています。4月からは、より本格的なプログラミング教室も加え、より高度な講義を開催する予定です。



きらきら しがだい人

日常が制限されることがあっても、
学生たちは自主的に
さまざまな活動に取り組んでいます。
きらきら輝く笑顔の理由は、
挑戦したことで得た自信と意欲の証です。

現地文化の理解と工夫で
問題を解決

経済学部

島北 開
三田学園高校(兵庫県)



輝く理由

留学・海外 インターン シップ

夢への一步を踏み出した 海外武者修行

「将来は専門性と語学力を発揮して世界を舞台に活躍したい」。大学2回生にこんな目標を定め、グローバルゼミでファイナンスの専門性を鍛え、英語とスペイン語を徹底的に学びました。その後、2021年の6月から9月までスペインに留学し、9月から12月までメキシコで本マグロの流通を営む企業で海外インターンシップに挑戦しました。

異国の地で 逆境を跳ねのける

メキシコでは、底抜けに陽気な現地社員と共に、新規顧客獲得のための営業、SNSを通じた宣伝活動やネギマグロの余剰在庫の販売に奔走しました。生でマグロを食べる習慣がないメキシコでは、在庫の販売先を見つけることに苦労しました。しかし、ピリヤやブリトー、タコスなど、メキシコ人が大好きなローカル料理にハバネロやハラペーニョなどの唐辛子がよく使われることから、余剰在庫をローカライズできないかと考えました。こんな発想で現地社員と試行錯誤を繰り返し、実際に販売までこぎつけることができました。受け入れられる文化がないからと諦めずに、粘り強く困難を乗り越えた経験は、あこがれのスペイン語圏の国で成し遂げた初めての実績となりました。



好奇心をバネに多くの活動に取り組む

教育学部

井上 雄太 膳所高校(滋賀県)

輝く理由

自治体への政策提案

多様なデータを収集 同級生にアンケートも

大学入学後に受講した和泉志津恵教授の「データサイエンス入門演習」(2020年度)という授業の一環で、大津市役所の方々へ政策を提案するという活動がありました。分析を行うにあたり、同級生にアンケートに答えてもらったり、授業内で紹介された「V-RESAS」というコロナ流行前のデータと現在のデータとを比較して可視化しているサイトを利用したりと、さまざま

な方法でデータを収集しました。初めて生のデータを用いた分析を行ったので、いろいろな配慮をする必要があり大変な点もありましたがいい経験となりました。

データ分析の学びを深め できることを増やしたい

大津市の観光地について考えるというテーマで発表を行ったのですが、観光地の中でもカップル向けの場所をピックアップすることにし、インスタグラムの検索数なども参考にしながら話し合いを進め、少ない習得分析を活用し、学生らしい視点からの分析が出来たのではないかと思います。演習では最優秀賞をいただきました。2回生になり扱えるプログラミング言語が増え、新しい分析手法を学んだので、これから先はやりたいことを自分の力で出来るようになりたいです。

最優秀賞

「うまれ」
滋賀県立膳所高校、内田実結、(左)島北開
貴校は、令和2年度県立大学「データサイエンス入門演習」において、大津市に於ける様々なオープンデータから得たデータを活用し、データサイエンスを用いながら、大変興味深い研究発表をされました。
よって、ここに賞します。
令和3年1月19日
大津市長 佐藤 龍司

免許取得と課外活動

輝く理由

生涯学習を学び 社会教育主事に興味

生涯学習について学んだとき、学校・地域・家庭の協働といった教育体制の中で、社会教育主事が果たす役割に興味を持ちました。現在、主事資格の取得に向けて社会教育実習に参加しています。広く教育のあり方について考えが深まるだけでなく、物事を多角的に捉えることの重要性を実感しました。また、「国語をどう勉強すればいいのかわからない」という声を耳にした経験から、勉強のコツや魅力

を発信できる教師になりたいと思い、中学校の国語科免許の取得もめざしています。

進路選択へつなげる サードプレイスでの学び

テニス部に所属する他、複数の活動を行いながら、2021年度にはテニスサークルを創設しました。部とサークルでは、活動の動機や目標に違いがあり、運営する難しさを実感しています。しかし独りよがりにならないよう仲間の意見を聞き、要望に応じて活動内容を変化させながら運営することができています。これは社会教育学習で身に付いた「複数の視点から捉え、考える力」が活かされていることだと思います。教員免許、社会教育主事資格、課外活動など、それぞれの活動に全力で取り組み、将来の可能性を広げていきたいと思っています。



リアルデータを活用し学生目線で分析



詳しくは
こちら

データサイエンス学部

内田 実結 松山東高校(愛媛県)



理論と実践からデータ分析の学びを深める

データサイエンス学部

泉 英樹 青稜高校(東京都)

輝く理由

クラリネット

大学入学後に始めた ソロ演奏で1位を獲得

私は、中学生の時に吹奏楽部でクラリネットを始め、大学入学後は吹奏楽部の活動のほかソロ演奏にも挑戦し、2021年の夏に行われた「第23回 日本演奏家コンクール」では、木管楽器部門アマチュアの部で全国1位を受賞しました。出場を決めてから一次予選までの期間が2週間ほどしかなく、学期末テストの時期とも重なっていたため練習時間の確保が大変でした。しかし時間を有効的に使い、自分の弱点を集中的に練習したことで嬉しい結果につながったと思います。

コンクールで多くを吸収 練習の積み重ねを大切に

また、地域の「大津シンフォニックバンド」に所属し、ソロのコンクール



と同時期に全日本吹奏楽コンクールにも出場。吹奏楽の練習とソロの練習の両立が難しかったですが、時間を区切って練習時間を確保し、こちらも関西大会金賞を受賞することができました。これらの経験により自分自身の成長を感じています。何よりも今までの練習の積み重ねで培ってきた力を十分に発揮できたことが、一番大きな収穫だったと思います。これから先も日々の練習の積み重ねを大切に、いろいろな音楽活動に挑戦したいと考えています。

時間を有効に活用し2つのコンクールで入賞

教育学部

岡本 明莉 石山高校(滋賀県)



輝く理由

数理統計

数理統計の魅力に惹かれ 検定試験にも挑戦

私は大学入学当初から、データ分析を根幹で支える数理統計学に関心があり、主に理論の勉強を積極的にしてきました。データサイエンティストとして、モデルの作成やその出力結果の正しい読み取りだけでなく、その背後でどのような事が行われているのかを数学的に理解することは大変重要であると思います。先日、数理統計の理解力を測る資格である統計検定準1級を取得し、現在は1級の取得のために日々勉強に励んでいます。

複数の視点からデータを見る大切さを実感

一方で、実践的なデータ分析の訓練を積むこともまた重要だと思います。2020年の夏には、NEC主催



の「NEC Analytics Challenge Cup 2020」に友人とチームを組んで参加し、予測精度コンテストで最優秀賞を受賞できました。最終的に提出した予測値は、複数の仮説に基づいたモデルの出力を組み合わせたもので、与えられたデータと向き合い、さまざまな仮説を立てることの大切さを学びました。3回生からは神経科学のデータを分析するゼミに所属し、ドメイン知識の習得に日々明け暮れています。今後も一つひとつのデータと真摯に向き合っていきたいと思っています。



“お国柄”を知りチームパワーを発揮

経済学部

田處 真帆 札幌光星高校(北海道)

輝く理由

社会人大学院生

1年間休職して一念発起 大学院で学ぶ道を選択

宮崎県庁職員です。よく驚かれますが、1年間休職し一般枠で入学しました。データサイエンスに関心を持ったきっかけの一つが、ジョージア大学への訪問でした。そこで、心理や統計の専門家がコラボし、成果を検証した子どものいじめ予防プログラムが政策になる、というエコシステムがあることを知りました。いわゆるEBPM(証拠に基づく政策立案)です。データに基づ



宮崎大学での招待講義の様子

く施策を進めたい、そのうえで自分の専門性を高めたいと思い、大学院入学を決意しました。

コンペティションに挑戦 分析手法の理解促進に

学んだことの棚卸しとして、公的統計を題材とした「統計データ分析コンペティション」に参加しました。テーマは、地方の人口減少と関連する「若年女性の社会移動」としたものの、知識やプログラム実装が追いつかず、分析手法が締切1週間前まで決まりませんでした。最終的に、機械学習と計量経済学との折衷案のような形になったのですが、そこを評価いただいたようで、とても嬉しかったです。同時に、目的やデータに適合した分析手法について整理できました。今後も学び、実践し、社会での価値創造に繋げていきたいです。

海外インターンシップ

輝く理由

クロスカルチャーに魅了 海外インターンシップへ

幼少期は寺院で仏教に触れ、高校はカトリックのミッションスクールでキリスト教を学び、大学ではグローバルコースで異文化コミュニケーションスキルを磨きました。この経験から、未知の世界の価値観を学びたいという思いがより一層強くなり、コロナ禍でも滞在できる国を探しました。そして、イスラム教色の強い中東で、かつ人口の8割以上が外国人で構成される



アラブ首長国連邦ドバイを見つけ、万博関連のインターンシップに挑戦しました。

自分の物差しを捨てて ワンチームで働く

多様な国籍と文化を有する仲間と働く。これは私が中学生の頃からの夢でした。しかしドバイでの現実は一層厳しく、仕事仲間に平気で5時間待たされる、期限1時間前に仕事を振られるといった出来事に日々翻弄されました。そんな想定外を乗り越えるため、ひたすら寛容になり、自分の常識を押し付けないことをめざしました。こうしてチーム力を発揮し、パナマ関連使節団のアテンド、コーヒー豆の販路開拓イベント、ファッションショーの開催などを次々と成功させました。世界を巻き込む、そんな夢に向かって、さらに挑戦を続けます。



詳しくは
こちら

学びを社会での価値創造に

データサイエンス研究科

三輪 俊太郎 宮崎県勤務

輝く卒業生たち

日東電工株式会社

島津 佑汰さん

Profile

兵庫県出身。2021年3月滋賀大学データサイエンス学部卒業。同年4月日東電工株式会社入社。研究開発本部データサイエンスグループに配属。中学・高校はバレーボール部に所属。そこでパフォーマンス管理のために収集されていたデータに興味を抱く。大学時代はフライングディスク競技・アルティメットのサークルで活躍。代表として60人以上の部員をまとめ上げた対話力や運営力も強み。

データサイエンスで化学の未知を解き明かす

先生の寄り添いと充実した学習環境に驚き

滋賀大学に日本初のデータサイエンス学部が設立されると知り、「データサイエンスとは何か」という疑問と、新しい分野への好奇心から受験を決めました。入学して驚いたことは、先生方の親身な指導。そして連携する企業や自治体が多く、インターンシップや産官学共同研究など実践的な学びが充実していることです。2回生には研修で中国・深圳を訪問し、ベンチャー企業を見学。データサイエンスが広く浸透していることに刺激を受け、学ぶ意欲が一段と向上しました。

有効なデータ解析には「対話」が重要

3回生からは所属する清水ゼミで、先生方やマーケティング会社の社会人大学院生の方などにアドバイスをいただきながら、因果探索の研究に取り組みました。商品アンケート結果の信頼性について、回答の影響や要因をデータ解析によって探っていくのですが、単に数値を検証するのではなく、どんな解析方法が有効なのか議論を重ねました。清水先生をはじめとする学部の先生からは、データサイエンスの目的は課題解決であり、課題の発見や解決のための手法の選択には対話が欠かせないと常々指導を受けていたのですが、研究を通じてその重要性を改めて実感しました。ここ



で身につけたコミュニケーション力や幅広いデータ解析の手法は今の仕事の軸になっています。

データを製品開発に反映大規模活用が魅力

ゼミでの研究とはまた違う化学分野でのデータサイエンスを知りたいと、日東電工株式会社のインターンシップに参加し、それがきっかけで就職しました。現在は研究開発本部のデータサイエンスチームに所属し、実験段階の現象に関するデータを解析しています。より高性能の製品に到達するためには、いくつかの課題解決が不可欠ですが、未知の要素をデータによって明確にし、製品というカタチになって社会や人々に貢献できる規模の大きさにやりがいを感じています。化学のプロである実験部門の方と連携しながらのデータ解析はおもしろく、新しく獲得するデータや活用方法を提案することもあります。会社もデータサイエンスに力を入れており、日本初の専門学部出身者ということで期待値が高いのですが、それをポジティブに捉え、研究開発の効率化や加速化、人知を超えた製品、価値の創出が目標です。化学に限らず、データサイエンスはあらゆる領域で求められており、学べば学ぶほど活躍の場が広がると思います。学修面でも実践面でも万全の環境が整う滋賀大学データサイエンス学部で、後輩の皆さんにも頑張ってもらいたいです。



JAXA

(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)

深牧 仁美さん

Profile

小学5年生から8年間オランダに在住。2021年3月滋賀大学経済学部情報管理学科卒業。同年4月JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)に入社。財務部に配属となり、年次・月次の決算、運営交付金や補助金の請求などの業務に携わる。帰国子女ということで、改めて日本の文化に触れたいという思いから、大学時代は邦楽部に所属。琴、尺八を担当し、滋大祭をはじめ演奏会にも出演。

滋賀大学初のJAXAに採用！さまざまな経験から見た進路

海外の大学と同じ環境で学びに打ち込む

私は海外生活が長かったことから、大学入学後は留学生と共に学ぶ経済学部独自の「グローバル人材育成プログラム」に選抜され、英語での講義や異文化交流に力を注ぎました。大学3回生からはさらに厳しい環境で勉学と研究に打ち込みたいとの思いから、欧米のビジネススクールに匹敵するといわれる宮西ゼミに所属し、企業分析や財務諸表分析などの専門性を鍛え抜きました。志の高い仲間や国内外で活躍するゼミの先輩の存在に、大いに刺激を受けました。

国際問題への当事者意識が根づいたインターンシップ

3回生の終わりには内閣府青年国際交流事業「世界青年の船」に参加し、各国の参加者との船上生活を通じて多様な価値観への理解が深まりました。その中で、関心があった難民問題について意見を求めると、自国の政情によっては自らが難民になる可能性があるという参加者が何人もいました。日本では知りえない彼らの危機感に、自分の視野をもっと広げる必要性を感じ、1年間休学してのインターンシップへの挑戦を決意。カンボジアに渡って土産店で働きながら若者の教育や自立のサポートを行い、帰国後は国内のNPO



法人で難民支援の認知啓発に従事しました。これらの経験によって、国際問題への当事者意識が高まったと感じています。

モットーは Have your vision from Space!

インターンシップを機に、国際支援に取り組む政府系機関を希望の就職先としてリサーチしていたところ、JAXAの採用情報を見つけました。実は私は幼少期から宇宙に興味があり、ロケット開発や技術者を夢見て、入試では工学部も受験していました。思い切ってエントリーしたところ、学内外での学びや経験が糧となり、滋賀大学初となるJAXAへの入社が決まりました。

現在は財務部に所属し、決算や予算の管理、運営交付金などの請求、JAXAを所管する文部科学省との交渉といった業務にあたっています。国家機関の職員としての責任は重大ですが、やりがいはいとてつもなく大きく、ゼミで培った財務の専門知識も大いに活かされています。JAXAではジョブローテーションによってキャリア形成していくので、今後は技術関連部門や世界の宇宙開発機関との連携部門への配属、国連をはじめ国際機関への派遣などもめざし、宇宙的視野での国際貢献を果たしたいと決意しています。大学時代、何事にも挑戦し、視野を広げたことが今の仕事や目標につながっています。みなさんも滋賀大学で自分が本当に進めべき道を見つけてください。

守山市立守山南中学校

高山 孝介さん

Profile

京都府出身。2010年3月滋賀大学教育学部学校教育教員養成課程理数教育コース卒業。同年4月株式会社ニトリに入社し、販売、運営に携わる。退職後、講師を経て2012年高島市立マキノ中学校、2017年守山市立守山南中学校着任。2021年度に滋賀大学のCST(コア・サイエンス・ティーチャー)養成プログラムを受講。2022年度より認定CSTとして、地域の現職教員の理科指導にあたる。

社会経験を積んだ後に教壇へ 今後は教員指導にも尽力

教員になるため 卒業後は企業に就職

在学中、特に印象に残っていることは、太陽物理学を研究する大山ゼミでの学修です。天体観測実習で長野県を訪れたのですが、そこで見た星空は今も目に焼きついており、実体験の感動、興味を授業や勉強につなげていきたいと思いました。しかし、学部での充実した学びと先生の指導によって知識を養う一方で、大学卒業後すぐに、人を育てるという重責を担う教員になっていいのか迷いも感じるようになっていました。先生にも相談にのっていただいた結果、まずは一般企業に就職して、社会経験を積むことに決めました。

販売、接客業務が 教員の仕事に活かされる

就職したのはニトリです。店舗での販売のほか、アルバイト、パートの管理といった運営にも関わっていました。日々の仕事にやりがいを感じていましたが、改めてキャリアプランを考えた際、企業勤務の経験によって教員になる気持ちが固まったことから退職、教員採用試験の勉強に専念しました。試験勉強では卒業生にも関わらず、大山先生をはじめ、滋賀大学の先生には、小論文の添削などサポートいただき、無事、教員採用試験に合格することができました。ニトリでの接客業務の経験は、生徒や保護者と接するときに活かされています。



また、企業や社会で重視される効率的な働き方を身につけられたことで、授業やテストの準備、行事、部活動といった教員の業務もスムーズに遂行できていると思います。

滋賀県の理科教育の 中核となる教員に

教員10年目を迎えた2021年には、滋賀大学が滋賀県教育委員会、市・町教育委員会とともに実施している「理数系教員養成拠点構築事業」のCST(コア・サイエンス・ティーチャー)養成プログラムに推薦され、理数教育における指導力向上に取り組みました。これまでも授業内容や指導方法の深化に努めてきましたが、昨今の教育現場、生徒の評価では論理的理解と表現が求められています。プログラムを通じてその重要性を再認識し、どうすれば子どもたちが興味を持って学ぶことができるか、滋賀大学の先生やCSTに認定された地域の理科教員の方々の教えを受けながら追求しています。教員はどんなに時代が変化しても人にしかできない仕事です。生徒の人生に何かしら良い影響を与えられたことを知ったときに、喜びを感じます。私の場合、理系を好きになってくれた生徒や、今、滋賀大学教育学部で教員をめざす教え子もいます。教育の勉強だけにとらわれず、さまざまなことを経験し、いろいろな人と出会うことも、教員になった時、授業や指導の幅を広げることに役立つはずです。



ニュース & トピックス

【教育学部】

■教員と学生がグランドピアノのラッピングデザインを担当

草津市西方寺の境内のテラスに新たにグランドピアノが設置され、藤田昌宏教授と美術専攻の学生3名が波紋柄のデザインを考案、ラッピングをしました。誰でも自由に演奏できるストリートピアノとして設置された本ピアノは、西方寺を中心とした地域のコミュニティーづくりの一役を担

います。テラスに差し込む光を活かして、赤やピンク色を基調にデザイン。協力した学生は「ピアノの音で波紋が広がり、共鳴するイメージを表した」と話し、「弾くことで人や街のつながりが広がっていく」という願いが込められています。



■いのちを守る教員育成のために防災教育を実施

滋賀県知事公室防災危機管理局の協力のもと、教職実践演習にて防災に関する講義が行われました。講義では、東日本大震災での「釜石の奇跡」を例に、防災教育の重要性が説明されました。また県が発行する一人ひとりの生活や立地条件に合わせた避難行動計画をまとめるシート「しがマイ・タイムライン」を使ったワークショップが行われ、学生たちは学校・自宅の災害リスクや避難場所の確認、避難時に必要な物を記録するなどし、防災意識を高めました。

【経済学部】

■学生たちが滋賀の魅力を発信すべくイベントを企画・実施

近江上布伝統産業会館(ゆめまちテラスえち)で開催された「POP UP ATELIER & SHOP」で、中野桂教授のゼミ生が滋賀発インテリアのモデルルームの展示と愛荘町ツアーを企画し、2021年11月にイベントを行いました。この取り組みは、滋賀の魅力を発信すべく、マーケティングや環境問題に興味を持つ学生

らが集まり実施に至りました。学生らが手掛けたモデルルームには、愛荘町の伝統麻織物である近江上布のリネンや信楽焼の食器、黒壁スクエアのガラス細工などを展示。また愛荘町ツアーでは、中山道の宿場町や和菓子店、歴史的建造物など、学生たちが魅力に感じた名所をコースにし、観光客を案内しました。



■証券アナリスト第2次試験の合格者数が全国の大学で1位に

2021年6月実施の証券アナリスト第2次試験において、経済学部生5名が合格し、合格者数が全国の大学で1位となりました。日本証券アナリスト協会の公表資料によると、21年度の試験に合格した大学生はわずか16名。本学の合格者数は、慶應義塾大学3名、一橋大学(ビジネススクール、大学院を含む)3名、横浜国立大学2名を大きく上回りました。なお、本学では2016年5名、2017年4名、2018年3名、2019年4名、2020年2名が合格しています。

【データサイエンス学部】

■統計学界で最高の栄誉「大内賞」を受賞

この度、統計界で最高の栄誉とされる「大内賞」を受賞しました。大内賞は、戦後、日本の統計の再建に政府の統計委員会委員長として尽力した大内兵衛博士の業績を記念して、昭和28(1953)年度に設けられたもので、日本の統計の進歩に貢献した個人、団体等を顕彰する統計界の最高栄誉です。

本学は、日本で初めてデータサイエンス学部を設置し、続けてデータサイエンス研究科修士課程、博士課程を設置するなど、国内で極度に不足しているデータサイエンス高度人材を輩出する基盤を構築し、統計学及び統計関連分野の充実・高度化に多大の貢献をしたことにより受賞となりました。



■「NEC Analytics Challenge Cup 2021」で学生が優秀賞

NEC主催の分析コンペティション「NEC Analytics Challenge Cup 2021」に学生が参加。特定の画像を探し出す予測モデルの精度を競う「予測精度コンテスト部門」と、AIやデータ分析を活用した新サービスを企画する「アイデア企画コンテスト部門」、画像データを活用したビジネスアイデアの企画・検証をする「データ活用コンテスト部門」に挑みました。本学学生が各部門で優秀賞を取るなど、優秀な成績を収めました。

先輩に聞く、 国際機関就職への道

留学で得た新たな視点が 卒業後の進路を考えるきっかけに

滋賀大学では学生たちの国際交流活動を支援するほか、手厚い留学制度を用意しています。
そこで、留学によって進む道を決めた先輩に、留学をめざす後輩と、国際交流に携わる于准教授がインタビュー。
留学の魅力、意義を探ります。

目的をはっきりさせて 交換留学でオランダへ

于 留学へのきっかけを教えてください。
ト部 私の中では大きく2つあります。まず中学生の時、所属していた野球部の先生がJICA(独立行政法人国際協力機構)の青年海外協力隊として開発途上国に派遣された時の経験談を聞き、自分も海外に行きたい、開発途上国の役に立ちたいとあこがれを抱いたこと。それで、地元にあるJICAの事務所を訪ねて、いろいろと教えていただきました。これが国際交流を意識した始まりです。もうひとつは、オーストラリアから来日した交換留学生在がクラスにじめるよう、みんなに呼び掛けてイベントの企画などをしたことです。
于 自分から進んで行動し、情報を集めて目標を具現化すると、そのために何をすればいいのかが明確になりますよね。では、留学への経緯、目的を聞かせてください。
ト部 滋賀大学に入学した理由のひとつが、交換留学プログラムが充実していたことです。ただ、当初は留学の目的が定まっていなかった。交換留学の選考には目的が重要視されます。これ

までを振り返る中で、「自分の強みがなければ、善意だけでは開発途上国に貢献できない」というJICAの方のお話を思い出しました。それで、開発途上国だけにフォーカスするのではなく、支援側となる先進国の政情や開発経済なども学ぶ必要があると思い、政治経済科目が充実しているオランダ・ゾイド大学への留学を決めました。
楠本 私は街づくりや活性化に関心があり、ヨーロッパの街の施策などを見て学びたいと思い、同じゾイド大学への留学を決めたのですが、現地はどのような感じでしたか。
ト部 オランダは多民族、多文化国家という認識通りで、多種多様な学生が在籍し、交流することができました。日本のこともよく質問を受けましたよ。私からも現地の学生に声をかけて折り紙を体験してもらったり、寮で和食をふるまったり。講義では先生に依頼してカルチャーショウクのプレゼンテーションを行いました。
于 留学を充実させるには自主性や積極性が重要ですが、まさに実践していますね。
楠本 語学力についてはどうでしょうか。私はスピーキングの強化に努めているのですが。
ト部 私も留学前はスピーキングに不安がありましたが、国際交流機構の先生に「向こうでたく



ト部さんがオランダ・ゾイド大学に留学したときのひとこま

滋賀大の 国際交流プログラム

■ 交換留学(派遣)

滋賀大学では、海外の大学と学部生及び大学院生の派遣、受け入れを相互に行う交換留学を行っています。留学期間は最長1年以内で、留学期間中の授業料は滋賀大学に納入し、留学先大学での授業料は免除されます。また交換留学制度で留学した大学で取得した単位が、帰国後に本学での単位として認定される場合があります。

■ 短期海外研修

夏季休業期間等を利用して、短期間に目的意識をもって異文化を体験できる海外研修のプログラムを実施しています。単に海外の大学で授業を受けるだけでなく、現地で生活し地元の人々や文化に触れることで、日本の生活では得られない体験が可能です。また研修を修了すると、「海外研修」として単位認定されます。

さん話して慣れていけば大丈夫」と背中を押してもらいました。実際、現地はいわゆるオランダなまりの英語で、難しい単語や表現を使わなくても伝わるので、語彙力も気になりませんでした。
于 グローバル化や多様性の理解に伴い、世界では公共の場や学校教育でも標準英語以外が認められるようになっていきますね。
ト部 発音の正確さや語彙の豊富さよりも話すための知識が必要だなと感じました。日本のことは本当によく質問されるので、いろいろ知っているのと役に立つはずですよ。

緊急帰国も学内での 国際的な学び、活動が支えに

于 留学後についてですが、コロナ禍の影響で途中帰国となってしまいましたね。
ト部 はい、帰国後は気が抜けてしまいました。ただ、ゾイド大学の授業の一部をオンラインで受講できたのと、所属する陳韻如准教授のゼミでの充実した学びや、国際交流機構が展開する国際交流アソシエイトの学生代表として活動を始めたことで、モチベーションを再び上げることができました。
于 国際交流アソシエイトの学生代表としての活動について教えてください。
ト部 滋賀大学に各国から派遣されている留学生のサポート、世界を舞台に活躍する方をお招きして交流を図る「グローバルセミナー」の企画運営を行っています。このセミナーではゲストのお話に刺激を受けることはもちろん、開催までに多くの人と関わるので、日本人同士でもさまざまな考え方があがることに改めて気づきました。
于 確かにグローバルというと、海外や外国人に向きがちですが、日本人もすべて同じではありません。多様性の理解でも視点や思考、領域を限定してしまうことは、グローバル、ボーダレスの真意ではないですね。
ト部 先生のおっしゃる通りです。留学によって人や物事を見る視野や思考が広がったことが大きな成果であり、それが日本でも活かされています。



2022年4月よりJETRO職員として働くト部さん



異国に行って知った 日本の魅力とパワー

楠本 留学は将来にどう影響しましたか？
ト部 4月からJETRO(独立行政法人日本貿易振興機構)に勤務予定です。
于 海外への関心、留学への動機となった開発途上国支援とは違う進路ですね。
ト部 はい。開発途上国支援に携わる機関も検討しましたが、留学中に印象的な出来事があり、最終的にJETROを志望しました。その出来事というのが、休暇を利用してイギリスに旅行した時に、日本の神楽を披露しているところに遭遇したんです。とても盛況で、日本人である私に気づいた方からたくさんの質問を受けました。この反応に驚きと共に、世界の人を魅了する日本の伝統文化の素晴らしさに感銘を受けたのです。留学生活の交流体験も相まって、日本の魅力を世界に発信していくことを決意しました。
于 そういった気づきや決断はやはり現地リアルに体験してこそ得られるもの。滋賀大学が留学を促進する意義でもあります。
ト部 あと、留学や国際交流アソシエイトの活動を通じて、私は人を巻き込む力、他人事を自分事にして行動する力が自分の強みだと気づき、自信もつきました。仕事ではこの強みを活かし、日本の技術や品質を単に訴求するのではなく、企業や働く方の思い、こだわりなども伺い、情熱を持って世界に伝えることをめざします。
于 では、留学を考える後輩にアドバイスをお願いします。
ト部 留学で得られるものは非常に大きく、その後の学びやキャリアプランに影響することはいうまでもありません。準備は早めに取りかかり、可能であれば早い学年で留学に行くこともおすすめします。留学で得たことを社会に出る前に実践する時間が長くなるので。留学先での学びはもちろん、現地で多くの人との交流や、いろいろな所へ足を運ぶと、生き方が変わるような出会いがあるかもしれません。

楠本 私はヨーロッパのインテリアや農業にも興味があるので、留学したらできる限り出かけていきたいです。
ト部 ぜひおすすめします。最後に、滋賀大学は国際交流も盛んですし、国際交流アソシエイトの活動も継承してもらえるとうれしく思います。

後輩から先輩に質問

Q 留学前に有効な語学学習を教えてください。
A ライティングに力を入れておくことです。

留学先では講義後の課題や試験でレポートの提出が必要です。スピーキングは多少の間違いは許されますが、レポートでは不可。留学前に国際交流機構の先生から、レポートでは専門用語を用いることはもちろん、表現にも高いクオリティーが求められると聞きました。そこで、留学先でのレポートを想定したものを作成し、添削と指導いただきました。おかげで現地でも困ることなく、ライティングを通じて身につけた語彙力が会話にも活かされました。学びの順番も私の場合、ライティングの後にスピーキングが効果的だと思いました。



Professor's Advice

今こそ準備のとき 留学のさらに大きな力に

滋賀大学は、数多くの海外の大学と交流協定し、留学を実施しています。特に交換留学は留学先での授業料が免除されるので、経済的な負担が少ないです。留学前には入門セミナーや語学講座なども行います。海外渡航の中止・延期が続きますが、しっかり準備をする、将来を考える時間を取れることは留学に有効です。前向きに捉えて今できることに全力を注いでいきましょう。私たちが全力でバックアップします。



于 一楽
准教授



(右から)
于 一楽 准教授
教育学部
ト部 眞風
経済学部4回生 名東高校(愛知県)
国際交流アソシエイト代表
楠本 涼瑛
経済学部2回生 明星高校(大阪府)
国際交流アソシエイトメンバー
※学年など2022年1月取材時点

CAMPUS COMPASS

迷える新入生たちが滋賀という地で安住の場所を見つけられるように、先輩たちがおすすめする大学施設とごはん処を紹介してくれるそうですよ……!?

地域連携教育推進室

校舎棟 3 階



【開室時間】
9:30~12:00
13:00~16:30
※平日のみ

大学生活を模索中のあなたに!

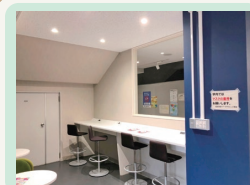
フードパントリーでの食品提供やボランティア紹介、本の貸出が行われています。職員や学生との交流やボードゲームなどの遊びを通して、気分転換や心の充電をする場所にもなっています。人や本、情報、あるいは新しい自分など、さまざまなものと出会うことができます。次の一歩を踏み出すためのヒントを探しに行ってみてはいかがでしょうか?

柴田雅美先生

背中を押されたい人集合!

キャンパスマップ

彦根 大津



まなびカフェ

研究棟 1 階

隅っこ好き必見!

一人で集中して作業をしたい、隙間時間に学習したい方はぜひ!

⚡ (電源タップあり)

彦根 キャンパス

テスト前に通い詰め!

自習用のPCや机等が複数設置されています。特筆すべきは試験問題集やテストの過去問を閲覧・印刷できることです!



【開室時間】
9:00~17:00
※平日のみ
※印刷用紙は持参
※入室に学生証必要

校舎棟 3 階

開放型学習スペース

お一人様から透明なガラスの机で自習ができます。中庭の景色や木の葉がする音が穏やかな時の流れを演出しています。

仲間と開放的なスペースで

テーブルを囲んで誰かと一緒に課題やグループワークをしたい学生にぴったりです。

ラーニング・コモンズ

講義棟 1 階

【開室時間】
8:30~17:00
※机や椅子の位置を動かさないこと



大津 キャンパス

アクティブ・ラーニング室

講義棟 1 階



【開室時間】
8:30~17:00
※机や椅子の位置を動かさないこと

創造学習センター (ALC)

附属図書館のとなり

新たな学びの創造拠点

大学内で静かに自習をしたい学生向け。就職資料室もあり、教員採用試験の情報収集もできます。

【開館時間】
8:30~17:00
※平日のみ
※入館に学生証必要



CAFE & RESTAURANT

ほっこりカフェ村

コウゲ

ハンバーグ定食

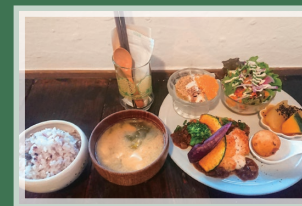
※全て税込価格
¥1,000



こぶし大のハンバーグが出てきます! お箸で割ると肉汁が溢れ出します。思い出ただけでヨダレが出てきちゃいます。鉄板プレートにのって出てくるのでゆっくり食べても温かくいただけます!

Hikone

今日のご飯セット(五穀米・サラダ・おかず・汁物・ミニデザート) ¥1,100



全て手作りで温かみを感じるランチプレート。味付けはお母さんを思い出すような優しい味でとても美味しいです。サラダや副菜、五穀米とバランスが良いため健康志向の方にはうれしいですね!

滋賀大学にほど近い、長く滋賀大生に愛されてきたレストラン。店主さんと店員さんが歓迎してくれて、大盛りのごはんを食べられるので、心もお腹も満杯にすることが出来るお店となっています。お腹を空かせた体育会系は必訪!
(取材: 平下)



昔の無料休憩所をリフォームした古民家カフェで、古い木造の建物で趣があります。入り口には滋賀に見られる飛び出しが置かれていてかわいいですね。店内は落ち着いた雰囲気。帰りに一人でゆっくりしたい時、友だちと話したい時などにおすすめです。(取材: 小野)



彦根市城町2丁目5-43
TEL. 0749-24-4595
open 11:30~14:30
17:30~20:30
(L.O.14:00~20:00)
close 水、木

食べログ▶



彦根市尾末町1-59
護国神社敷地内
TEL. 0749-22-0839
open 12:00~15:00
close 土、日、月、祝日

食べログ▶



キッチン ふらいぱん

エビフライオムライス ¥1,000

卵はふわふわでソースは3種から選べます。熟練の技によって作られたオムライスと大きなエビフライを共に頬張れば、満足間違いなし! リーズナブルなお値段の日替わりランチも絶品です。



Otsu

野菜とタレは増量無料。最初は油そばを味わい、途中からニンニクとお酢を加えるのが通な食べ方です。見た目はこってり系油そばに見えますが、意外にもあっさりしていて、美味しくいただけます。

森次朗 ¥850



教育学部の近くにあり、アットホームな雰囲気、学生の憩いの場となっています。少し優雅なランチタイムを楽しみたい学生向け。オムライスのトッピングも種類豊富。ソースも食材も完全手作り、出来たてにこだわっています。(取材: 高槻)



お客さんとの距離が近く、笑顔の絶えないお店です。石山駅の近くに位置し、アクセスも良好です。リーズナブルな値段でボリューム満点のランチを楽しみたい学生向け! 麺の量は500gまで注文可能。野菜・タレ・脂は無料で増量できます。(取材: 高槻)



大津市平津1-11-11
TEL. 077-533-8577
open 11:30~15:00
17:30~20:00
水(11:30~15:00)
close 木

食べログ▶



大津市栗津町11-12
TEL. 077-531-5072
open 11:30~14:00
18:00~21:00
(L.O.20:30)
close 日

食べログ▶



現在コロナウイルスが流行しています。三密回避、消毒等の対策を継続してください。



[制作] 学生広報サポートチーム
[デザイン] 乾幸太郎 / 大泉まどか / 小林正章 / 小村悠祐 / 佐山結香 / 島津心暖 / 平下怜良 / 古田莉子
[メンバー] 乾幸太郎 / 大泉まどか / 小野愛理 / 小林正章 / 小村悠祐 / 佐山結香 / 島津心暖 / 高槻官法 / 谷村真菜 / 富麻友規 / 平下怜良 / 古田莉子 / 細川寛司

▶▶ 大津キャンパス

環境サークル エコRUSH

エコRUSHでは、ごみ拾いや栽培活動、環境系のワークショップへの参加など、環境にまつわる活動を幅広く行っています。一昨年度はトウモロコシを栽培し、ポップコーンにして学祭で販売しました。ここ2年は、コロナウイルスの影響で思うように活動できないことも多いですが、メンバーがやりたいことを、みんなで叶えるサークルをめざしています。



学内ごみ拾いの様子

硬式庭球部

練習中は集中して本気で取り組み、部活外では楽しく仲良く、そんなメリハリを意識して日々活動しています。他校との対抗戦やリーグ戦では彦根キャンパスの硬式庭球部と合同で試合に臨んでいます。5部まである中で、男子は3部、女子は4部リーグへの昇格を目標に頑張っています。ですが「テニスを楽しむこと」を一番大切に活動しています。



4回生の引退記念写真

女子バスケットボール部

私たち女子バスケットボール部は、プレイヤー8人、マネージャー2人の計10人で活動しています。コーチがいないので部員全員で協力しながら、今年度の目標である3部昇格に向けて自発的に取り組んでいます。また、「みんなから愛されるチーム」を築いていけるように、それぞれが自覚を持ち、楽しみながら部活動に取り組んでいます！



チームワークを大切に練習

フリースペース

フリースペースでは、月に1回不登校の子どもたちと一緒に活動をして子どもたちが自分らしく、楽しく過ごせるような時間をつくっています。子どもが持ってきたものや、学生が準備したもので話し合ったり作ったりすることで、学生と子どもが一緒になって楽しく過ごしています。子どもと寄り添い、繋がる時間を大切にして今後も活動を続けていきます。



子どもと学生でお話。「最近何してた？」

漫画倶楽部

漫画倶楽部では、年1、2回、部誌『かきたいんだからしよがない!』、通称『かきしよ!』を発行しています。漫画だけではなく、小説やイラストなども自由に掲載しています。創作活動のほかには好きな漫画を持ち寄ったり、ボードゲームやカードゲームを紹介したりとゆるっと活動しています。新入部員も随時募集中です！



これまでに発行した部誌、通称『かきしよ!』

漕艇部

昨年度は部員2人が全日本大学選手権兼全日本選手権に出場しました。滋賀県の象徴ともいえる琵琶湖で練習できるのが私たちの部活の強みです。水面の上で風を切って艇を進めていく感覚は、何ものにも代えがたいものです。それぞれの個性を保ちつつ、みんなで協力し合いながら、楽しく部活を行っています。ぜひ一度、漕艇部に見学に来てください。



京都レガッタ大会の様子
(当部は奥から2番目／舵手付きフォア)

Pick up

CLUB & CIRCLE

制限がある中でも活発な
部活・サークル活動、自治会活動。
今回はその中から12団体をご紹介します。

▶▶ 彦根キャンパス

アカペラサークル DecorateBox

J-POPから洋楽まで、さまざまなジャンルの曲を歌っているサークルです。みんなの仲が良く、和気あいあいとした雰囲気活動しています。昨年度はコロナ禍ということもあり、感染症対策をしながら、アカペラライブや他大学との交流を行っていました。今後は従来通り、地域のお祭りやイベントなどで演奏し、地域の活性化にも貢献していきたいです。



滋大祭のメインステージで発表

Foreign Language & Culture Community

日本人24人、留学生18人で活動している国際交流を目的としたサークルです。コロナ禍の今こそ、私たちが国際交流の架け橋になるんだと使命感を持って活動しています。定期的なゲームや座談会、パーティーなどで交流を深めています。留学への準備や実践的な英語を話す場所としても活用できるので、ご参加をお待ちしています。



クリスマス交流会

バレーボール部

昨秋の東海3部リーグ戦では優勝という成績を収めました。昇格戦には惜しくも負けてしまいましたが、引退された先輩方の意志を受け継ぎ、悲願である2部昇格を実現すべく、部員一同、日々練習に励んでいます。部活外でも、先輩後輩の壁を越え、頻繁に集まってごはんを食べたり遊んだりするなど、非常に雰囲気の良いチームです。



東海3部秋季リーグ戦の様子

ラグビー部

2022年度、ラグビー部はリーグ戦でCリーグ上位を目標に、チーム一丸となって切磋琢磨しています。リーグ戦だけではなく、定期戦、近畿地区国立大学体育大会でもより良い結果を出すために日々全力で練習に取り組んでいます。また、ほかにも合宿や部旅行など楽しいイベントも盛りだくさんです。初心者の方も大歓迎なので、ぜひ練習を見に来てください。



関西ラグビーリーグにおける他大学との試合

体育会

新歓交流会に始まり、駅伝・球技大会、リーダーズトレーニングなど、年間に複数のイベント開催を通して部活の枠を越えた交流を図り、運動部26団体が一つの部のように活動しています。スポーツで仲間と共に汗を流し、笑い、そして支え合う、濃密で充実した大学生活を過ごしてみませんか？ 新歓交流会で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



駅伝大会の様子

陸上競技部

木曜以外の平日4限・5限のどちらかと土曜日の午前中の週5日、総勢22人で活動しています。短い時間ながらも集中して真剣に練習に取り組んでいます。時にはリレーなどのゲームを行うこともあります。先輩後輩の仲が良く、練習後にみんなで遊んだりします。真面目な人からユーモアあふれる人までさまざまな人がいて、みんな文武両道で頑張っています。



陸上競技部の集合写真